

業務速報

NO. 931
2014. 10. 30
JR東海労働組合
発行 淵上 利和
編集 本橋 浩司

2014年度中間（第2四半期）決算経営協議会開催 連結・単体共に営業収益、四半期純利益は過去最高！ 社員に利益を配分せよ！

本部は10月30日、経営協議会を開催し、会社から平成26年度第2四半期決算（中間決算）について会社側から説明を受けました。

会社は「当社の運輸収入は、ビジネス、観光共にご利用が順調に推移したことから、好調だった前年度を上回り増収、グループ会社については減収となったものの、連結営業収益全体では微増。営業費については、電気料金の値上げや新幹線の大規模改修工事の進捗等に伴う物件費の増及び山梨リニア実験線における減価償却費の雑により増加、この結果、増収・減益（営業利益、経常利益）の決算、法人税等の減により四半期純利益は増益。」と説明。さらに「通期の業績予想を上期の実績を反映し、収益・利益を上方修正する」と説明しました。中間決算としては連結、単体共に過去最高の決算となりました

本部は淵上委員長から、決算概要からして会社の業務運営は極めて効率的であると指摘したうえで、東海道新幹線開業50周年を記念した社員への施策の実施、リニア中央新幹線建設・着工について、新幹線の大規模改修工事について、等を質問し議論しました。

以下、決算概要、淵上委員長の質問と会社回答及び議論内容です。

【連結損益の概要（累計）】

営業収益	： 8, 172億円	前年同期比	＋ 24億円	0.3%増
運輸収入（単体）	： 6, 137億円	前年同期比	＋ 119億円	2.0%増
営業費	： 5, 383億円	前年同期比	＋ 117億円	2.2%増
営業利益	： 2, 789億円	前年同期比	△ 92億円	3.2%減
営業外損益	： △ 337億円	前年同期比	84億円改善	
経常利益	： 2, 451億円	前年同期比	△ 7億円	0.3%減
四半期純利益	： 1, 670億円	前年同期比	＋ 74億円	4.7%増

【平成26年度の業績予想】

通期の業績予想は、上期の実績を反映し、営業収益1兆6,510億円（前年同期比

0.1%減)、営業利益4,750億円、(同4.0%減)、経常利益3,960億円(同2.0%減)、当期純利益2,680億円(同4.8%増)に修正する。

長期債務縮減見込額は2,040億円に修正し、当年度末の長期債務残高は2兆1,668億円を見込む。

【平成26年度の業績予想】

中間配当 1株あたり60円(年初予想通り、前中期比+5円)

期末配当予想 1株あたり60円

新幹線開業50周年 社員の努力と期待に応えよ！

＜淵上委員長の質問と回答＞

1. 平成26年度第2四半期決算において、連結で営業収益が0.3%、単体では運輸収益が2.0%とそれぞれ増収の決算となっている。その結果、会社は通期の業績予想上方修正した。前年度比で営業収益が減収、営業利益、経常利益がそれぞれ減益を見込んでいるが、当期純利益は4.8%の増益を見込んでいる。会社は今回の決算に対して、ビジネスや観光の利用が順調に推移したことから増収となったとしているが、このまま推移すれば、通期の決算では過去最高の純利益を上げることになる。大幅な増収となった前年度とほぼ横ばいの営業収益を上げ、その上で過去最高の四半期純利益を上げているということは、会社が極めて効率的な業務運営行っていることがこの決算で示されているといえる。このような極めて好調な今決算を踏まえ質問する。

(1) 今決算で、大幅な増収増益となった前年度と、ほぼ横ばいの営業収益を上げることができた前提的な根拠は、すべての社員が安全・安定輸送のために職場で奮闘してきた結果であることは言うまでもない。社員の努力に対して、期末手当の増額や賃金のベースアップ等を行い、収益に対する正当な利益配分を行うべきと考える。会社の見解を明らかにすること。

【回答】

会社として今決算が好調だったことは社員の奮闘によるものと認識している。あらためて感謝申し上げる。その結果としてベースアップや期末手当に反映させるべきという貴側の主張には、年末手当交渉の中でしっかりと議論したい。

組合：会社として収益をどのように社員へ還元していくのか。今決算の営業収益、約6,000億円を社員の努力にしっかり応えて還元すること。

会社：交渉でしっかりと議論していきたい。

(2) 東海道新幹線開業50年の歴史は、安全・安定輸送に向けて努力してきた社員一人ひとりの日々の結果によってつくり上げてられてきたものである。会社はその努力に応え、新たな50年をつくり出していくためにも、社員に対し、努力と期待を形として示すべきだと考える。見解を明らかにすること。

【回答】

東海道新幹線開業50周年に対する社員への報い方については、貴側から年末手当に関する申し入れの中で要望をいただいている。この申し入れに踏まえて議論していく。

組合：50年の積み重ねは新幹線、在来線に携わる社員の力を合わせて積み上げたものである。これまでの社員の努力に応え、形として残すこと。

会社：年末手当交渉の中で議論していく。

(3) 今決算が示しているように、会社が極めて効率的な業務運営を行っている中で、その結果として特に新幹線の運輸所では年休取得ができず多くの社員が年休を失効している。そしていまだに休日出勤が一方的に指定されている。この状況を早急に解消するために、適切な要員配置を行うべきと考える。会社としての見解を明らかにすること。

【回答】

年休と休日勤務については、基本協約改訂交渉でも議論してきたが、会社としては適切な要員を配置している認識に変わりはない。非常に多くのお客様にご利用していただくためにも、社員に休日勤務をお願いする場合があるので、協力を願いたい。

組合：今決算は、会社が極めて効率的な経営を行っていることの表れだ。J R 東海労は、行き過ぎた効率化が年休失効や一方的な休日出勤等の問題を引き起こしていると認識している。これらは10年間も解消されないままである。早急に問題の解消に向け、必要な要員を配置すること。

会社：会社としては、行き過ぎた効率化という認識はない。休日勤務については波動の山があり、そこに合わせることはしないので、ゼロになることはないと考えている。

組合：年休失効も一方的な休日出勤も、行き過ぎた効率化によるものである。直ちに解消に必要な要員を配置すること。

住民への説明について糾す！

2. 10月17日、太田国土交通大臣はJ R 東海に対して、リニア中央新幹線の工事実施計画の認可を出した。しかし太田大臣は工事にあたって、地元住民等への丁寧な説明を通じた地域の理解と協力を得ること。二つ目は、国土交通大臣意見を踏まえた環境の保全。三つ目は、南アルプストンネル等における

安全かつ確実な施工、の3つの事項の確実な実施を求めた。これに対し柘植社長は、「しっかりと大臣の話しを受け止めて、特に地域地元との連携には十分に配慮をしながら早期に進めていきたい」との見解を示している。そのうえで質問をする。

(1) 10月24日に申し入れた申15号に基づき早急に労使協議の場を設定すること。

【回答】

申し入れ内容を見て協約に則って協議はするが、協議ができない場合もある。

(2) リニア中央新幹線建設工事に向けた今後の長期・短期のスケジュールについて明らかにすること。

【回答】

10月27日から、順次47市町村で実施してきている。内容は環境、工事認可、お住まいのことをきちんと説明している。これをきちんとやっていく。その後は、測量、環境保全措置、中心線の測量、設計、用地についての説明、工事説明、用地の取得となる。建設を早期にできる自社の用地である品川と名古屋ターミナルは早期にとりかかり、工事ヤードを準備していく。

(3) 10月17日に太田大臣が工事の認可をしたが、その際3項目の確実な実施を求めた。それに対する会社としての見解を明らかにすること。

【回答】

3項目については大事にし工事を実施していく。環境保全については、事後調査、モニタリングも実施していく。評価書実施項目に則って万全を期して3項目を実施していく。工事関係者の安全はもとより、地域住民の安全に万全を期したい。

(4) 柘植社長は太田大臣の3項目の実施の求めに対して、特にとして地域との連携には十分に配慮をするとの見解を示している。しかし環境アセスでの地域説明会において、住民の方から「一方的な説明であり、まったく納得いく十分な説明がない」など極めて厳しい指摘を受けている。こういった指摘を真摯に反省し、10月27日から行われる沿線47市区町村での事業説明会が行われるべきだと考える。会社見解を明らかにすること。

【回答】

丁寧な説明はこれまでもやってきているが、今後も丁寧な説明をやっていく。

組合：組合は、リニアの環境アセスについては、地域・住民には不十分な説明であったと認識している。会社は説明が不十分であったと認識すべきである。反省すべき点があったのかなかったのか、会社の認識を明らかにすること。

会社：何を持って反省をするのかわからない。丁寧に説明をしてきている。

組合：その認識は間違っている。

3. 新幹線の大規模改修工事について、会社は昨年、25年度4月から35年4月までの10年で行うと計画を変更した。今年度において今日までの改修工事の実施状況と今年度の工事予定について、財政的な支出を明らかにすること。

【回答】

平成26年度の工事全体で350億円の支出を見込んでいる。損益計算書に反映されない額もあるが、250億円が反映されている。

以 上